

ごとう せいこう (しずか)
後藤 静香

(1884~1969) 社会教育家 社会運動家

明治17年 中井田村(大野町)生まれ

師範学校卒業後、長崎県の女学校に勤務のかたわら、修養教化運動に参加。女子育英事業、難民救済、アイヌ救済、ハンセン病患者救済、盲人教育活動など幅広く行動。修養団体「心の家」を設立。生涯を社会教育に捧げる。雑誌「希望」発刊、著書『権威』など。横浜で亡くなる。

参考：『大分県歴史人物事典』